

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成26年11月20日 (2014.11.20)

【公表番号】特表2012-512316(P2012-512316A)
 【公表日】平成24年5月31日 (2012.5.31)
 【年通号数】公開・登録公報2012-021
 【出願番号】特願2011-542312(P2011-542312)
 【国際特許分類】

C 0 8 J 3/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 3/00 C E S

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成26年10月1日 (2014.10.1)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 6 7
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【 0 0 6 7 】

そして、混合ポリマー生成物は、高せん断装置（ I K A モデル D R 2 0 0 0 / 2 0 ）に入る前に 2 1 8 まで加熱されることで融解されて空気及び蒸気と混合される供給原料として使用される。蒸気は実施例 1 における約 5 % の割合で、空気は $7 \text{ kg} / \text{cm}^2$ で供給される。高せん断装置を通る流速は 7 . 8 M T / 時である。高せん断装置からの流出物は 2 1 8 に加熱され、そして揮発性成分を除去するために 5 8 0 m m H g でフラッシュ蒸発装置を通る。高せん断装置の後に位置する保持タンクは、粘度が低下し続ける約 5 分の保持時間を有する。必要に応じて、高せん断装置を通過した後に、ポリマーは更なる粘度低下のために高い温度及び / 又は圧力で保持されても良い。得られるポリマーは表 5 に示される以下の性質を有する。

【表 5】

特性	値	方法
粘度	56センチポアズ	ASTMD3236@149°C
密度	0.88g/cc	ASTMD1505
滴点	105°C	ASTMD3954
硬度	0.6dmm	ASTMD1321
酸価	Nil.	mg KOH/gm